



資料 7

流域治水における個別対策

- ① 広渡川水系 P 1 ～ P24
- ② 市木川水系 P25 ～ P41
- ③ 福島川水系 P42 ～ P61

広渡川流域における対策内容

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策内容

氾濫をできるだけ防ぐ
・減らすための対策

① 益安川 河道掘削・築堤・護岸工による氾濫対策

【宮崎県日南土木事務所】

- 広渡川水系の益安川では河川の断面が不足していることから、河道掘削・築堤・護岸工を実施することで流下能力の向上を図る。
- 流域内には人家や事業所などの資産が集中しており、河川が氾濫した際の浸水による損害が大きいことから、河川改修を集中的に実施し、早期に地域の安全性の向上を図る。

益安川施工状況写真

河道掘削・築堤



河道を掘削して流下能力を向上させます

築堤・護岸工事



築堤と護岸工事を行い、氾濫を防ぎます

区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ 防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策	河道掘削・築堤・護岸工	宮崎県	→		

氾濫をできるだけ防ぐ
・減らすための対策

② 酒谷川 堤防強化・築堤による氾濫対策 【宮崎県日南土木事務所】

○酒谷川では、平成9年9月の台風19号により、床上浸水家屋138戸、浸水面積約17haの大規模な浸水被害が発生した。広渡川合流点からJR日南線までの4.2km区間について、堤防強化や築堤、護岸整備や河道掘削等を実施し、酒谷川周辺地域の安全性の向上を図る。

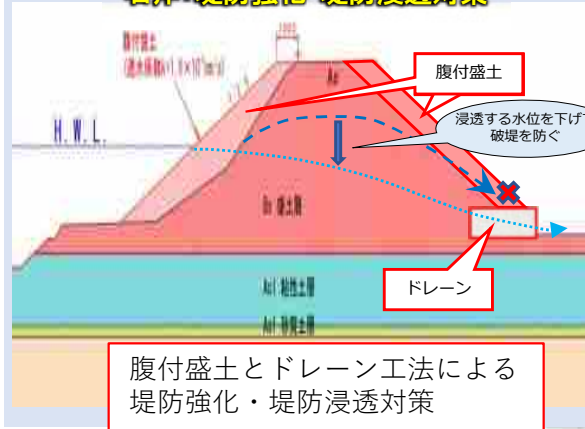
浸水被害の状況



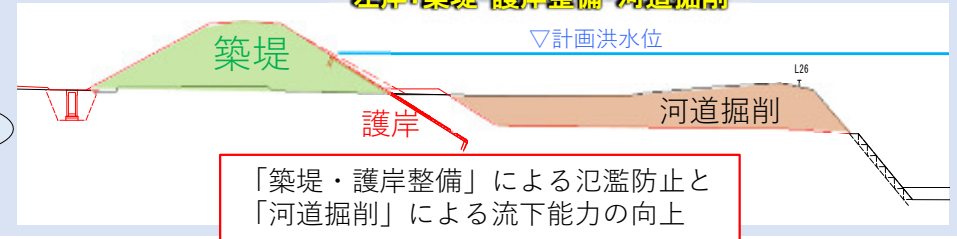
平成9年9月台風19号
(写真:東光寺地区)

改修イメージ

右岸:堤防強化・堤防浸透対策



左岸:築堤・護岸整備・河道掘削



施工状況写真



区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ 防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策	堤防強化・堤防浸透対策 築堤・護岸整備・河道掘削	宮崎県			

- 戸高川では、河道が狭く、流下能力不足により浸水被害が発生している。
- 戸高川周辺には人家や事業所などの多くの資産が集中しており、浸水被害による損害が大きいことから、護岸整備や河道掘削等を集中的に実施し、早期に周辺地域の安全性の向上を図る。

浸水被害の状況



平成2年9月台風20号

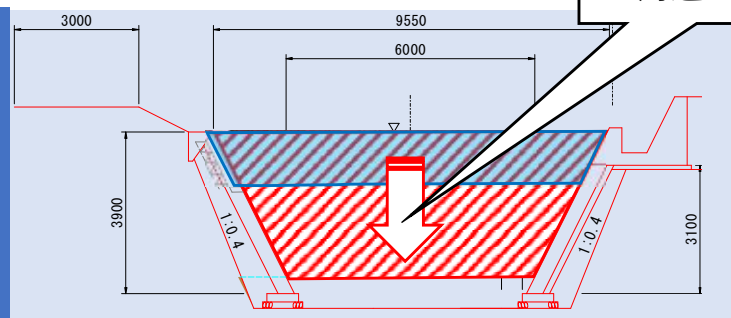


平成2年9月台風20号

戸高川航空写真



改修イメージ



現在の状況

道路橋下の河道拡幅



固定堰の改築による流下能力の向上



	要因	面積	浸水家数		
			床上	床下	合計
昭和46年8月	台風19号	0.1ha	0戸	8戸	8戸
昭和47年6～7月	豪雨	2ha	2戸	63戸	65戸
平成2年9月	台風19号、豪雨	16ha	3戸	86戸	89戸
平成2年9月	台風20号、豪雨	42ha	55戸	114戸	169戸
平成3年9月	台風19号	6.6ha	3戸	82戸	85戸
平成16年8月	台風16号	3.9ha	1戸	1戸	2戸
平成17年9月	台風14号	0.1ha	1戸	19戸	20戸

区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ 防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策	河川改修、堰改築	宮崎県	→		

○広渡川水系に設置されている井堰の改築を実施し、河道の流下能力を高め、水系全体の治水安全度の向上を図る。（※河川改修計画については、堰管理者との協議により今後変更になる可能性があります。）

広渡川 王子製紙取水口



広渡川 内之田井堰



戸高川 丸池井堰



広渡川 松永井堰



広渡川 大藤井堰



戸高川（宮之前）



区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ 防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策	堰改築	宮崎県			

氾濫をできるだけ防ぐ
・減らすための対策

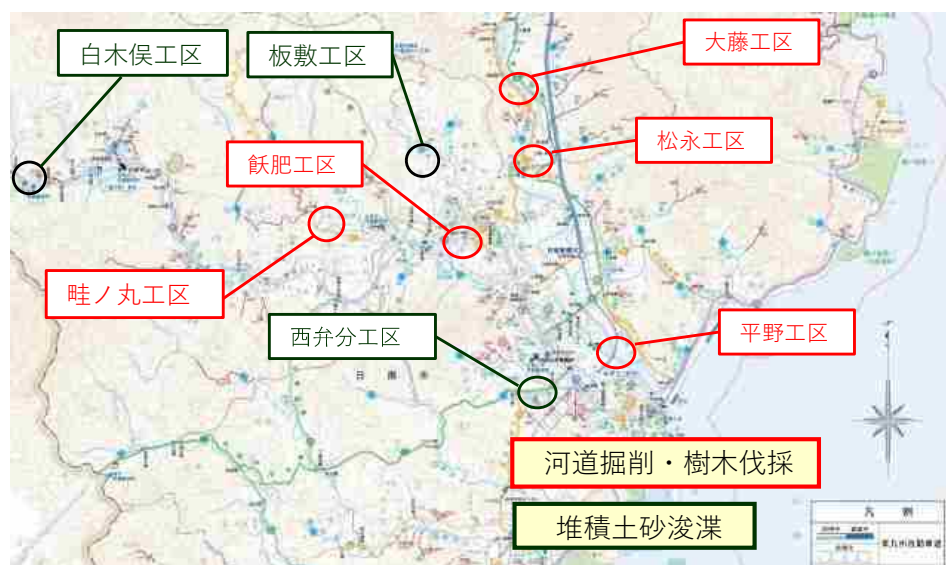
⑤ 河道掘削・樹木伐採、堆積土砂浚渫

【宮崎県日南土木事務所】

○樹木繁茂や土砂堆積の流下阻害等で洪水氾濫による被害が生じる恐れのある箇所について、樹木伐採や河道掘削を実施する。

【日南土木事務所管内】

R3年度実施予定箇所



対象河川	工区名等
広渡川	松永工区 大藤工区
酒谷川	平野工区 餌肥工区 白木俣工区
飛ヶ峯川	板敷工区
妻手川	西弁分工区
大根川	畦ノ丸工区

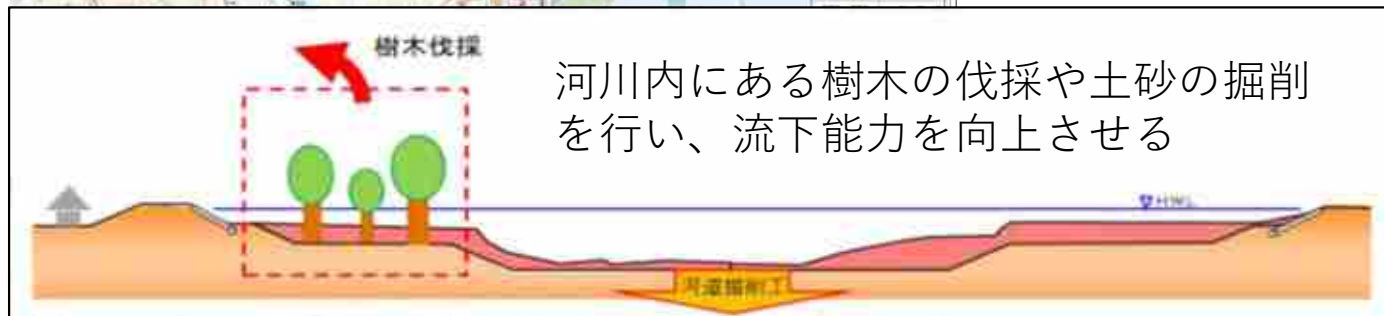
広渡川【着手前】



広渡川【施工中】



河川内にある樹木の伐採や土砂の掘削
を行い、流下能力を向上させる



区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ 防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策	河道掘削・樹木伐採・堆積土砂浚渫	宮崎県	→		

○広渡川の広渡ダムと酒谷川の日南ダムに貯めている水をあらかじめ放流して水位を下げ、近年頻発している大規模な洪水への対策に活用する。



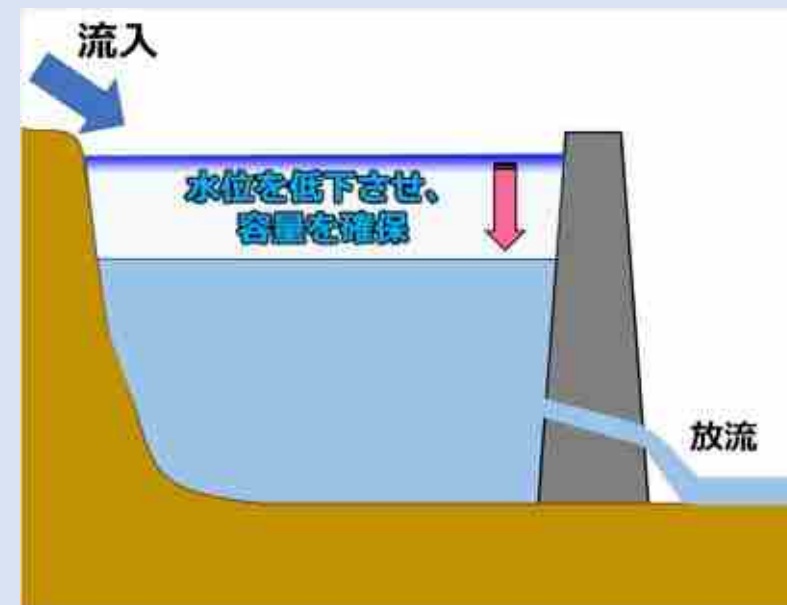
広渡ダム



日南ダム



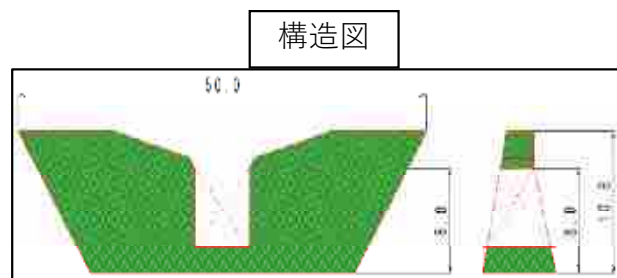
事前放流のイメージ



区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ 防ぐ・減らすための対策	流水の貯留機能の拡大	実施に向けた課題の整理・検討 治水ダムにおける事前放流の実施	宮崎県			

○流域における荒廃地域の保全を行うとともに、下流河川の河床上昇を防ぎ、土砂流出による災害から人命等を守ることを目的として砂防堰堤の整備を実施する。

実施地区：広渡川水系無名沢川



区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ 防ぐ・減らすための対策	土砂流出対策	砂防堰堤整備	宮崎県			

【農業農村整備事業を計画的に実施することで農業の多面的機能を発揮】

- 農業用ため池の改修や耐震化を図ることで下流域の被害を軽減
- 用排水路を整備することで山腹からの雨水をスムーズに排水し、周辺地域の被害を軽減

広渡川水系 農業農村整備事業【位置図】



実施内容	受益面積	地区名
農業用ため池の整備	35.0ha	野中、七迫、穴越
用排水路整備	207.0ha	東郷、東郷2期



農業用ため池の整備



用排水路の整備
(表面補修)

区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ 防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策	用排水路整備	宮崎県	→		
	流水の貯留機能の拡大	農業用ため池の整備		→		

- 河川上流域（民有林）における防災・保水機能を発揮させる森林整備・治山対策のため、再造林、保育(下刈り、間伐等)、治山ダム、山腹工等を進める。



【広渡川・市木川・福島川流域の森林の状況】（日南市、串間市）

森林面積： 65, 640ha

国有林： 28, 868 ha

民有林： 36, 772 ha

【広渡川・市木川・福島川流域の森林整備の実施状況】（令和2年度）

再造林： 352ha 溪間工 2箇所

下刈り： 1, 932ha 山腹工等 2箇所

除間伐： 69ha

【流域治水への事業効果等】（保水機能効果）

荒廃した人工林を間伐することにより、土壌の孔隙量が増え、保水機能が向上する。

（防災・減災効果）

間伐等の適切な森林整備により、下層植生が繁茂し、降雨に伴う土砂流出を抑制するほか、流木の流出等による被害を防止する。

伐採後の速やかな再造林により、裸地化による水土保持機能の低下を防止する。

治山ダムや山腹工により土砂や流木等の流出を防止するとともに保安林の整備により、森林の水源涵養機能や洪水緩和機能等を発揮させる。

区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	森林の整備・保全、治山施設の整備	森林整備（再造林、下刈り、間伐等） 治山事業（治山ダム、山腹工等）	宮崎県			

- 日南串間地区には、民有林3.6万ha、国有林2.9万ha、計6.5万ha(うち人工林2万ha)の森林(流域の土地面積の45%)が存在。
- 森林は山地災害防止機能や水源涵養機能等の公益的機能を有しており、この機能の適切な発揮に向け森林整備の実施が重要。
- 植林・間伐等の適切な森林整備により、森林の保水力の維持・向上等、災害に強い森林づくりを推進。

I 森林の有する機能について

1. 持続可能な森林経営

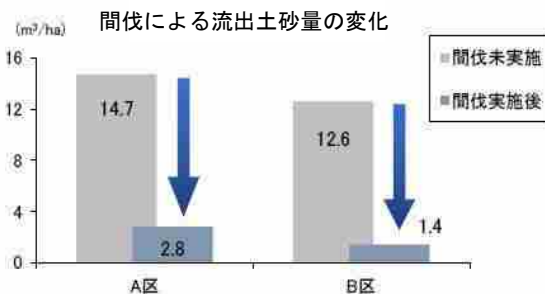
森林の公益的機能を発揮させるには、人工林については、「伐って、使って、植える」という形で循環利用することが必要。



※林野庁森林・林業白書より

2. 森林整備を通じた公益的機能の発揮

間伐等の森林整備により、下層植生や樹木の根の発達により、浸透能力、土壌保持能力が向上。



※恩田裕一編(2008)人工林荒廃と水・土砂流出の実態
※土砂量:2006年6月～11月の6ヶ月間、総雨量:1,048mm

II これまでの取組実績について

宮崎南部森林管理署管内における森林整備の実績 (単位: ha)

H29	H30	H31	R2	R3	計
1,569	1,504	1,428	1,419	1,455	7,375

※ 森林整備にて行う作業
更新作業: 地拵、植付
保育作業: 下刈、除伐、保育間伐



III 今後の取組について

○ 令和4年度 宮崎南部森林管理署管内の森林整備事業予定

更新作業	地拵	147.25ha
	植付	164.76ha
保育作業	下刈	729.22ha
	除伐	166.88ha
	除伐Ⅱ類	0ha
	保育間伐	374.50ha
計		1582.61ha

○ 森林整備の推進

間伐等の森林整備により、公益的機能が発揮される健全な森林づくりを推進。



間伐前

間伐後

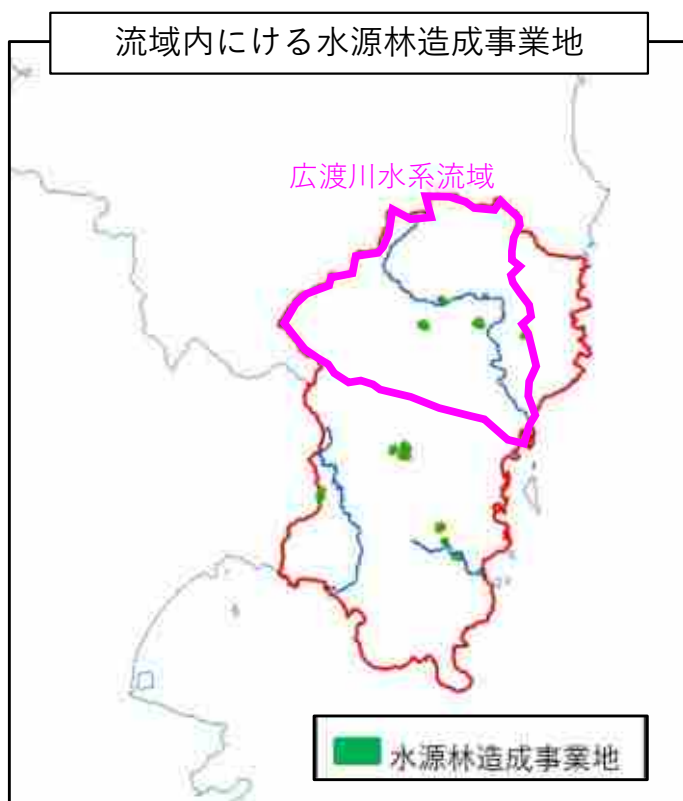
区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	森林の整備・保全、治山施設の整備	森林整備事業	宮崎南部森林管理署			

氾濫をできるだけ防ぐ
・減らすための対策

⑪ 水源林造成事業による森林整備・保全対策

【森林研究・整備機構 森林整備センター】

- 水源林造成事業は、奥地水源地域の民有保安林のうち、所有者の自助努力等によっては適正な整備が見込めない箇所において、針広混交林等の森林を整備することにより、森林の有する公益的機能の高度発揮を図る事業である。
- 水源林造成事業地において除間伐等の森林整備を計画的に実施することで、樹木の成長や下層植生の繁茂を促し、森林土壌等の保水力の強化や土砂流出量の抑制を図り、流域治水を強化促進する。
- 広渡川、市木川、福島川流域における水源林造成事業地は、11箇所（森林面積 約130ha）であり、流域治水に資する除間伐等の森林整備を計画的に実施していく。



区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ 防ぐ・減らすための対策	森林の整備・保全、 治山施設の整備	水源林造成事業	森林研究・整備機構 森林整備センター			

⑫ 土砂や流木の流出対策(国有林直轄治山事業) 【宮崎南部森林管理署】

- 山地に起因する災害から国民の生命・財産を保全し、また、水源かん養、生活環境の保全・形成等を図り安全で安心できる豊かな暮らしの実現を図るための治山事業を実施。
- 砂防・治山対策がそれぞれの役割を果たしながら砂防と連携することにより、土砂・流木災害の防止・軽減を図る。

○ 治山事業の実施状況について



災害発生直後

・雨の影響により地すべりが発生し、土砂と立木が道路へ流出。



工事完成后

・流出した土砂及び流木を撤去し山腹工を施工。

○ 宮崎南部森林管理署管内の治山事業実績 令和2年度

谷止工	3基 (925.3m³)
山腹工	3カ所 (1.24ha)
土留工	2カ所 (0.11ha)

令和3年度

谷止工	5基 (1676.9m³)
山腹工	1カ所 (0.16ha)

○ 令和4年度 治山事業予定

谷止工	3基 (853.4m³)
-----	--------------

・令和5年度以降の治山事業予定は、第6次地域管理経営計画書・国有林野施業実施計画書に基づき溪間工及び山腹工の事業を予定している。

区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	森林の整備・保全、治山施設の整備	治山事業	宮崎南部森林管理署			

- 水路整備を行う事で、排水機能が向上し、周辺地域の被害軽減が図られる。
多面的機能支払交付金を活用し、活動組織の采配で農業用施設の補修・更新を行う。

着工前



完 成



排水機能の向上

R3.4月時点

【市内組織の状況】

活動組織数 44組織
内平地部 19組織
内山間部 25組織

【水路整備実績】

全 体 20箇所
内補修 4箇所
内更新 16箇所

【交付金内訳】

国：50%
県：25%
市：25%
地元：労力

区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害対象を減少させるための対策	内水氾濫対策	用排水路の補修や更新	日南市活動組織			

広渡川流域における対策内容

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策内容

○防災の日や防災週間において、防災啓発を実施、継続していく。

- ▶ 防災の日（5月第4日曜日）：普及・啓発事業
- ▶ 防災週間（8月30日～9月5日）：普及・啓発事業

令和3年度宮崎県防災の日(令和3年度は5/23)における啓発事業

- ・ 自助・共助への意識向上のため、テレビ、ラジオCM、ポスター、チラシ等により風水害への備えの啓発について実施した。
- ・ 改正災害対策基本法による新しい避難情報についても啓発した。



(防災の日チラシ表)



(防災の日チラシ裏)

令和2年度防災週間における啓発事業

- ・ 台風シーズン前に多様な避難のあり方と避難における注意点等を啓発した。
- ・ R2年度は新型コロナウイルス感染症への対応もあり、より避難の理解力向上が求められたことから、防災週間だけではなく、前倒しし、8月12日からCM等を放映した。



区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災学習の推進	防災の日、防災週間における防災啓発	宮崎県			

- 防災士養成研修：災害時において最も重要な「自助・共助」を推進するため、地域防災の核となる防災士を養成している。
- 防災士出前講座：自主防災組織や自治会、学校や企業に防災士を講師として派遣する出前講座を実施し、地域の防災力を向上させている。

宮崎県防災士養成研修

- ・令和3年5月末現在の防災士数
〈宮崎県〉 **5,646名**（人口10万人当たり526名）
〈全国〉 211,330名（人口10万人当たり167名）
- ・防災士数の順位
全国・・・**14位** 九州・・・**3位**（福岡、大分に次ぐ）
※人口10万人比では、**全国6位**



宮崎県防災士出前講座

- ・養成してきた防災士を活用し、自治会や自主防災組織等で実施する研修等に防災士を講師として派遣する。



（出前講座ポスター）



出前講座の主な内容

- 地震・津波についての基礎講座
- 気象・火山についての基礎講座
- 家具固定に関する講座・実習
- 地域の地図を用いたワークショップ
- 避難所運営ゲーム等を用いた防災学習

区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災学習の推進	防災士の養成及び出前講座の実施	宮崎県			

③ 学校、自治会、自主防災組織等への水防災教育の推進

【宮崎地方気象台】

○自ら判断して避難できる人材育成を目的として、学校、自治会、自主防災組織等への水防災教育の推進するため、台風・豪雨から「自らの命は自らが守る」基本的な知識ととるべき行動について、他人と接触せずに学べる教材を提供。

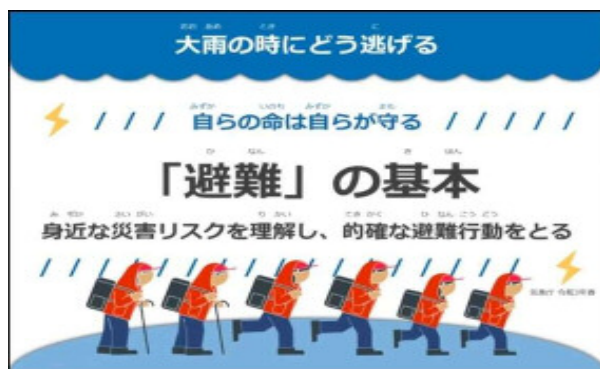
気象庁 eラーニング教材「大雨のときにどう逃げる」

改修版

- 新しい生活様式での**オンライン学習**に対応(教材は気象庁HPで公開)
- **マイ・タイムライン**の事前学習に最適
- 個人学習だけでなく、自治会や学校などでも活用できる教材
- 難しく考えず、**気楽**に取り組むことが可能

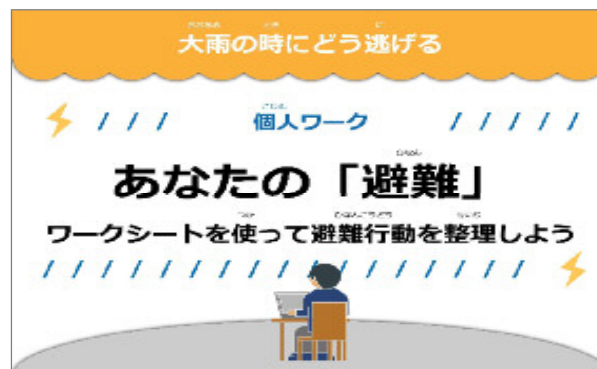
アドレス

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/knownow/jma-el/dounigeru.html>



「自らの命は自らが守る」
基本の知識を動画で学ぶ

約17
分



自分の避難行動を
ワークシートに整理

約30
分



みんなで意見交換して
自分の避難を再確認

約30～40
分

1時間の学習にピッタリ

Web会議でも実施できます

区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災学習の推進	出前講座・防災学習の実施	気象庁	→		

- 作成した洪水浸水想定区域図データの提供。
- 洪水予報河川・水位周知河川以外の中小河川についても、浸水想定図を作成し、水害リスク情報空白地帯を解消していく。
- 不動産関係団体等が開催する研修会において、水害リスク情報の解説を実施していく。

不動産関係団体を対象とした研修会での水害リスク情報の解説



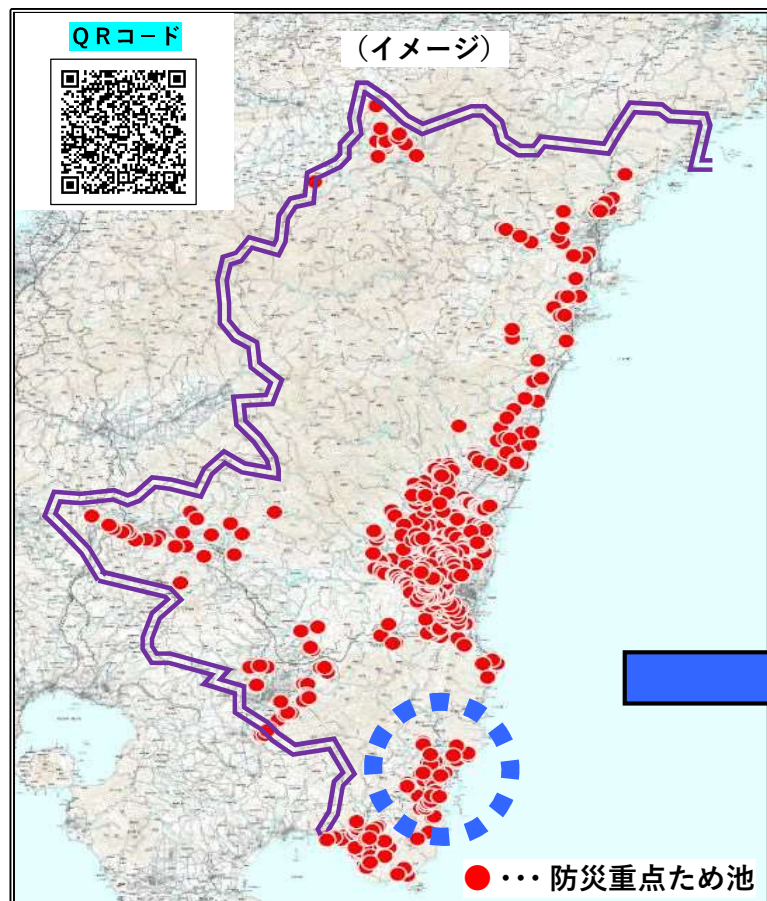
洪水浸水想定区域図のない水害リスク情報空白地帯の解消



区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	水害リスク情報の提供	洪水浸水想定図の作成・データ提供等	宮崎県			

- 緊急時の迅速な避難行動につなげるため、県内の防災重点ため池マップの周知を図る。
- ため池マップには、ため池名、所在地、貯水量、緊急時の連絡先等を掲載する。

【農業用ため池マップ】



農業用ため池マップの公表について

【経緯】 平成30年7月豪雨では西日本を中心に多くのため池が決壊し、甚大な被害が生じたことを踏まえ、今後のため池対策の進め方に基づく緊急時の迅速な避難行動につなげる対策のひとつとして、ため池の位置等を住民に知っていただくため、宮崎県内の防災重点ため池マップを作成。

【防災重点ため池とは】 決壊した場合の浸水区域に家屋や公共施設等が存在し、人的被害を与えるおそれのあるため池。

(令和元年5月末時点)

農業用ため池の総数	うち、防災重点ため池
663箇所	420箇所

ため池マップには、
ため池名、所在地、
貯水量、緊急時の連絡先を掲載

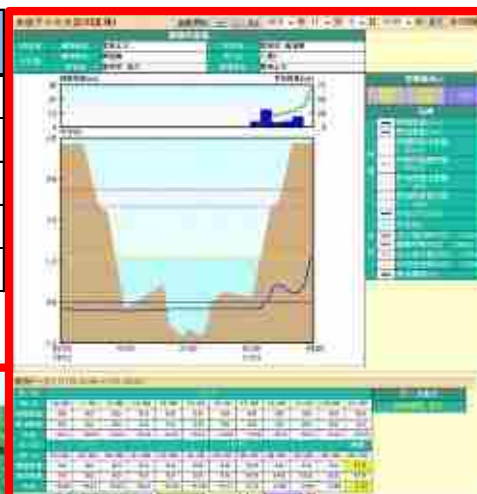


区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	水害リスク情報の提供	農業用ため池マップの周知	宮崎県			

- 従来の水位計や河川監視カメラに加え、危機管理型水位計や簡易型河川監視カメラを増設し、きめ細やかな水位情報を提供する。
- 安定した雨量・水位情報を提供できるよう観測局等の適切な維持管理を実施していく。

県が公開している
水位情報等

	広渡川流域	日南土木管内 全体
雨量計	10	13
水位計	9	12
河川監視カメラ	8	10
危機管理型水位計	7	8
簡易型河川監視カメラ	9	9



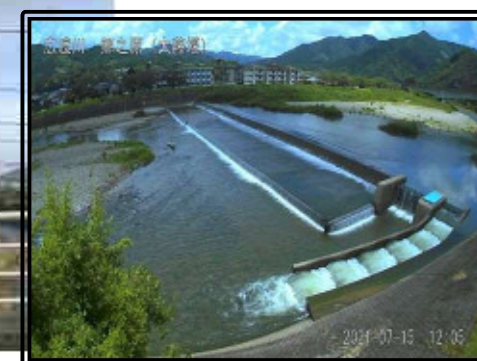
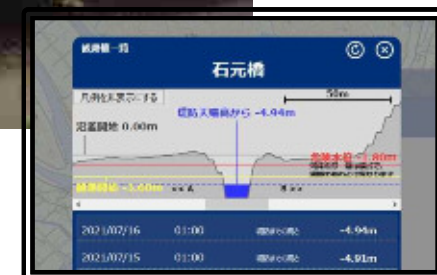
危機管理型水位計



県が公開している雨量・河川水位観測情報：県のHPで公開



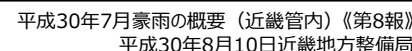
簡易型河川監視カメラ



区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	水害リスク情報の提供	水位計・河川監視カメラ等の増設、安定した情報の提供等	宮崎県			

⑦ ICTを活用した洪水警報、大雨警報、土砂災害警戒情報等の提供
【宮崎地方気象台】

改善（イメージ）



■中期、中長期
出前講座、各種会
議等を利用し、利活
用や避難について周
知啓発を行う。

-23-

日南市総合防災訓練(酒谷地区)



ハザードマップの改訂により、酒谷地区の主要な避難所が想定最大規模における浸水想定区域内となることや、広域避難（酒谷地区外への避難）も想定されるため、酒谷地区で風水害を想定した訓練を計画し、日南市が所有するバスを用いた避難の実施や、県防災ヘリによる孤立者の救助などを実施。

また、併せて災害時に円滑な避難所運営ができるように、日南市の避難所担当職員を対象に、段ボールベッドや避難用テントの作成訓練等を実施。

区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	減災、早期復旧、復興への備え	総合防災訓練の実施	日南市			

市木川流域における対策内容

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策内容

○市木川では、樹木繁茂や土砂堆積の流下阻害等で洪水氾濫による被害のあった個所や被害の生じる恐れのある箇所について、樹木伐採や掘削を実施する。



市木川【実施前】



市木川【実施後】



区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策	樹木伐採、河道掘削	宮崎県	→		

氾濫をできるだけ防ぐ
・減らすための対策

② 樹木の伐採・河道掘削による氾濫対策

【串間市都市建設課】

○石原川、セメン谷川、郡司部川では、樹木繁茂や土砂堆積の流下阻害等で洪水氾濫による被害が生じる恐れのある箇所について、樹木伐採や河道掘削を実施する。また、堤防の低い箇所は掘削土砂を利用し嵩上げする。

市川水系の普通河川【串間市管内】



対象河川	工区名等
石原川	石原・中福良地区
セメン谷川	石原・中福良地区
郡司部川	郡司部地区

石原川【実施前】



堤防の嵩上げ【実施後】

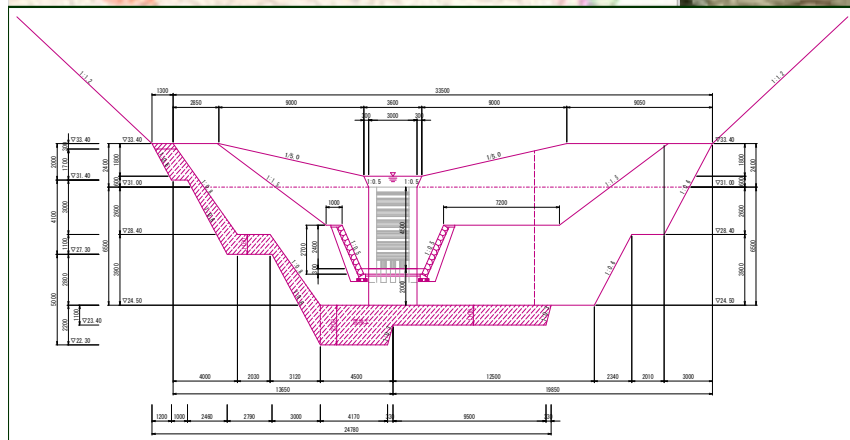
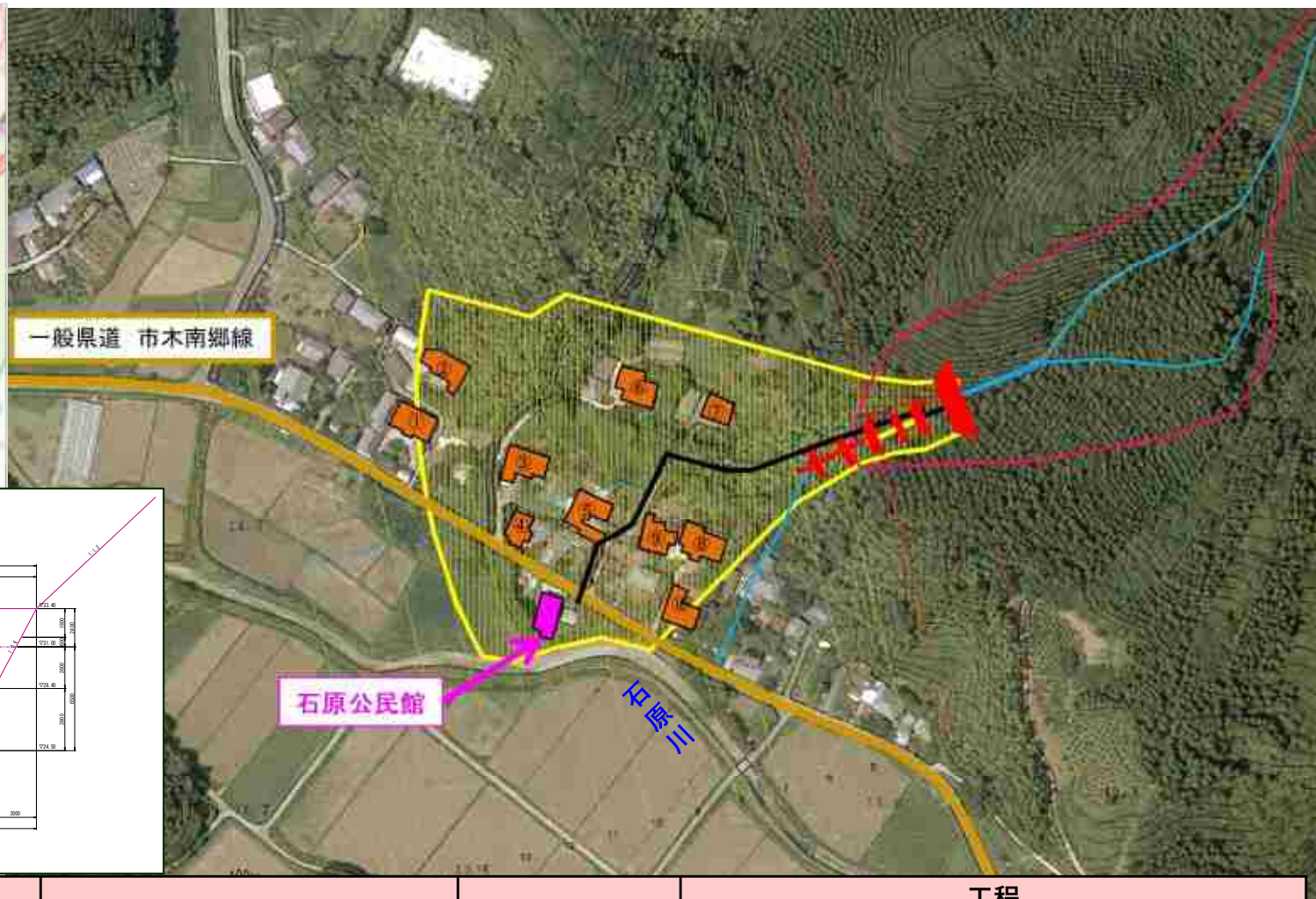


石原川【実施後】



区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ 防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策	樹木伐採、河道掘削	串間市			

○市木川流域の平原谷川において、土砂の流出及び溪岸浸食を抑止するため、砂防堰堤及び溪流保全工を整備。



区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ 防ぐ・減らすための対策	土砂災害対策	砂防堰堤、溪流保全工	宮崎県	→		

- 河川上流域（民有林）における防災・保水機能を発揮させる森林整備・治山対策のため、再造林、保育(下刈り、間伐等)、治山ダム、山腹工等を進める。



【広渡川・市木川・福島川流域の森林の状況】（日南市、串間市）

森林面積： 65,640ha
 国有林： 28,868ha
 民有林： 36,772ha

【広渡川・市木川・福島川流域の森林整備の実施状況】（令和2年度）

再造林： 352ha 溪間工 2箇所
 下刈り： 1,932ha 山腹工等 2箇所
 除間伐： 69ha

【流域治水への事業効果等】（保水機能効果）

荒廃した人工林を間伐することにより、土壌の孔隙量が増え、保水機能が向上する。

（防災・減災効果）

間伐等の適切な森林整備により、下層植生が繁茂し、降雨に伴う土砂流出を抑制するほか、流木の流出等による被害を防止する。

伐採後の速やかな再造林により、裸地化による水土保持機能の低下を防止する。

治山ダムや山腹工により土砂や流木等の流出を防止するとともに保安林の整備により、森林の水源涵養機能や洪水緩和機能等を発揮させる。

区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	森林の整備・保全、治山施設の整備	森林整備(再造林、下刈り、間伐等) 治山事業(治山ダム、山腹工等)	宮崎県			

⑤ 国有林の森林の整備・保全(保水力の維持向上)【宮崎南部森林管理署】

- 日南串間地区には、民有林3.6万ha、国有林2.9万ha、計6.5万ha(うち人工林2万ha)の森林(流域の土地面積の45%)が存在。
- 森林は山地災害防止機能や水源涵養機能等の公益的機能を有しており、この機能の適切な発揮に向け森林整備の実施が重要。
- 植林・間伐等の適切な森林整備により、森林の保水力の維持・向上等、災害に強い森林づくりを推進。

I 森林の有する機能について

1. 持続可能な森林経営

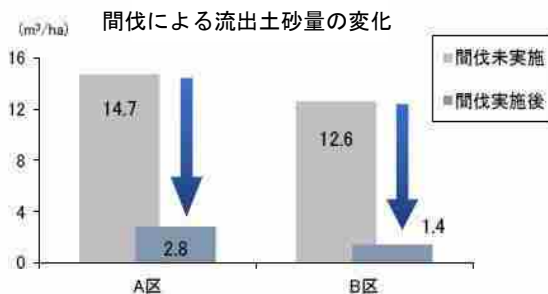
森林の公益的機能を発揮させるには、人工林については、「伐って、使って、植える」という形で循環利用することが必要。



※林野庁森林・林業白書より

2. 森林整備を通じた公益的機能の発揮

間伐等の森林整備により、下層植生や樹木の根の発達により、浸透能力、土壌保持能力が向上。



※恩田裕一編(2008)人工林荒廃と水・土砂流出の実態
※土砂量:2006年6月～11月の6ヶ月間、総雨量:1,048mm

II これまでの取組実績について

宮崎南部森林管理署管内における森林整備の実績 (単位: ha)

H29	H30	H31	R2	R3	計
1,569	1,504	1,428	1,419	1,455	7,375

※ 森林整備にて行う作業
更新作業: 地拵、植付
保育作業: 下刈、除伐、保育間伐



III 今後の取組について

○ 令和4年度 宮崎南部森林管理署管内の森林整備事業予定

更新作業	地拵	147.25ha
	植付	164.76ha
保育作業	下刈	729.22ha
	除伐	166.88ha
	除伐Ⅱ類	0ha
	保育間伐	374.50ha
計		1582.61ha

○ 森林整備の推進

間伐等の森林整備により、公益的機能が発揮される健全な森林づくりを推進。



間伐前

間伐後

区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	森林の整備・保全、治山施設の整備	森林整備事業	宮崎南部森林管理署			

氾濫をできるだけ防ぐ
・減らすための対策

⑥ 水源林造成事業による森林整備・保全対策

【森林研究・整備機構 森林整備センター】

- 水源林造成事業は、奥地水源地域の民有保安林のうち、所有者の自助努力等によっては適正な整備が見込めない箇所において、針広混交林等の森林を整備することにより、森林の有する公益的機能の高度発揮を図る事業である。
- 水源林造成事業地において除間伐等の森林整備を計画的に実施することで、樹木の成長や下層植生の繁茂を促し、森林土壌等の保水力の強化や土砂流出量の抑制を図り、流域治水を強化促進する。
- 広渡川、市木川、福島川流域における水源林造成事業地は、11箇所（森林面積 約130ha）であり、流域治水に資する除間伐等の森林整備を計画的に実施していく。



区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ 防ぐ・減らすための対策	森林の整備・保全、 治山施設の整備	水源林造成事業	森林研究・整備機構 森林整備センター			

⑦ 土砂や流木の流出対策(国有林直轄治山事業) 【宮崎南部森林管理署】

- 山地に起因する災害から国民の生命・財産を保全し、また、水源かん養、生活環境の保全・形成等を図り安全で安心できる豊かな暮らしの実現を図るための治山事業を実施。
- 砂防・治山対策がそれぞれの役割を果たしながら砂防と連携することにより、土砂・流木災害の防止・軽減を図る。

○ 治山事業の実施状況について



災害発生直後

・雨の影響により地すべりが発生し、土砂と立木が道路へ流出。



工事完成後

・流出した土砂及び流木を撤去し山腹工を施工。

○ 宮崎南部森林管理署管内の治山事業実績 令和2年度

谷止工	3基(925.3m³)
山腹工	3カ所(1.24ha)
土留工	2カ所(0.11ha)

令和3年度

谷止工	5基(1676.9m³)
山腹工	1カ所(0.16ha)

○ 令和4年度 治山事業予定

谷止工	3基(853.4m³)
-----	-------------

・令和5年度以降の治山事業予定は、第6次地域管理経営計画書・国有林野施業実施計画書に基づき溪間工及び山腹工の事業を予定している。

区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	森林の整備・保全、治山施設の整備	治山事業	宮崎南部森林管理署			

市木川流域における対策内容

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策内容

○防災の日や防災週間において、防災啓発を実施、継続していく。

- ▶ 防災の日（5月第4日曜日）：普及・啓発事業
- ▶ 防災週間（8月30日～9月5日）：普及・啓発事業

令和3年度宮崎県防災の日(令和3年度は5/23)における啓発事業

- ・ 自助・共助への意識向上のため、テレビ、ラジオCM、ポスター、チラシ等により風水害への備えの啓発について実施した。
- ・ 改正災害対策基本法による新しい避難情報についても啓発した。



(防災の日チラシ表)



(防災の日チラシ裏)

令和2年度防災週間における啓発事業

- ・ 台風シーズン前に多様な避難のあり方と避難における注意点等を啓発した。
- ・ R2年度は新型コロナウイルス感染症への対応もあり、より避難の理解力向上が求められたことから、防災週間だけではなく、前倒しし、8月12日からCM等を放映した。



区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災学習の推進	防災の日、防災週間における防災啓発	宮崎県			

- 防災士養成研修：災害時において最も重要な「自助・共助」を推進するため、地域防災の核となる防災士を養成している。
- 防災士出前講座：自主防災組織や自治会、学校や企業に防災士を講師として派遣する出前講座を実施し、地域の防災力を向上させている。

宮崎県防災士養成研修

- ・令和3年5月末現在の防災士数
〈宮崎県〉 **5,646名**（人口10万人当たり526名）
〈全国〉 211,330名（人口10万人当たり167名）
- ・防災士数の順位
全国・・・**14位** 九州・・・**3位**（福岡、大分に次ぐ）
※人口10万人比では、**全国6位**



宮崎県防災士出前講座

- ・養成してきた防災士を活用し、自治会や自主防災組織等で実施する研修等に防災士を講師として派遣する。



（出前講座ポスター）



出前講座の主な内容

- 地震・津波についての基礎講座
- 気象・火山についての基礎講座
- 家具固定に関する講座・実習
- 地域の地図を用いたワークショップ
- 避難所運営ゲーム等を用いた防災学習

区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災学習の推進	防災士の養成及び出前講座の実施	宮崎県			

③ 学校、自治会、自主防災組織等への水防災教育の推進

【宮崎地方気象台】

○自ら判断して避難できる人材育成を目的として、学校、自治会、自主防災組織等への水防災教育の推進するため、台風・豪雨から「自らの命は自らが守る」基本的な知識ととるべき行動について、他人と接触せずに学べる教材を提供。

気象庁 eラーニング教材「大雨のときにどう逃げる」

改修版

- 新しい生活様式での**オンライン学習**に対応(教材は気象庁HPで公開)
- **マイ・タイムライン**の事前学習に最適
- 個人学習だけでなく、自治会や学校などでも活用できる教材
- 難しく考えず、**気楽**に取り組むことが可能

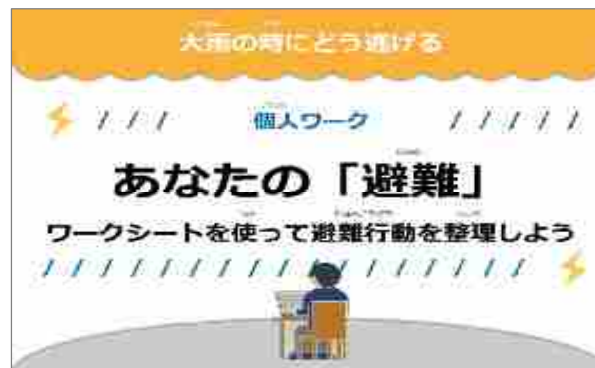
アドレス

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/knownow/jma-el/dounigeru.html>



「自らの命は自らが守る」
基本の知識を動画で学ぶ

約17
分



自分の避難行動を
ワークシートに整理

約30
分



みんなで意見交換して
自分の避難を再確認

約30～40
分

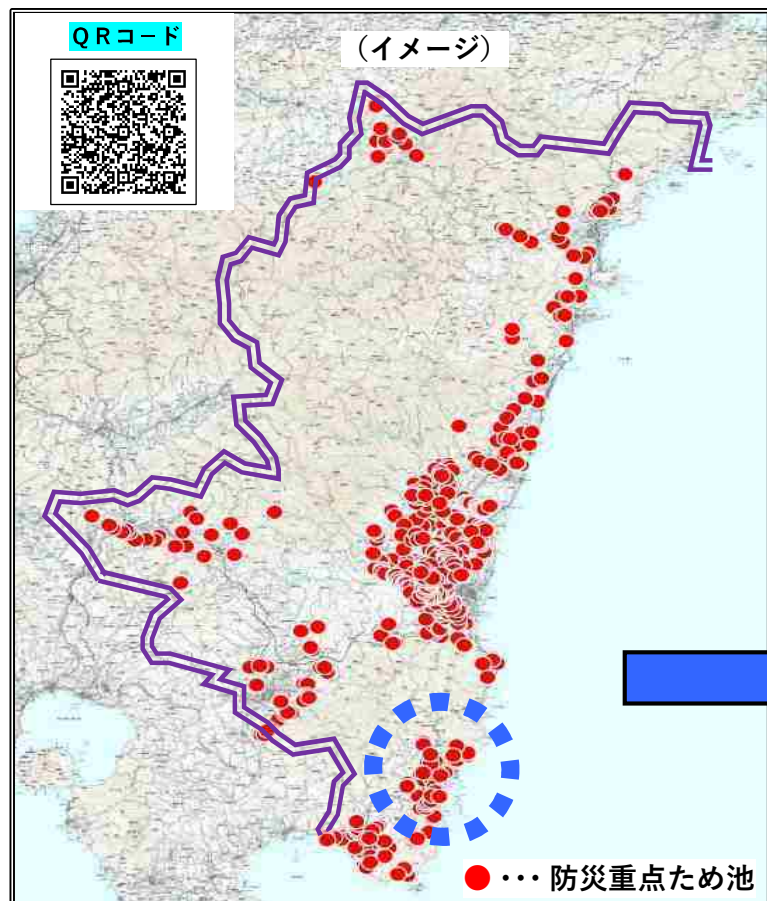
1時間の学習にピッタリ

Web会議でも実施できます

区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災学習の推進	出前講座・防災学習の実施	気象庁	→		

- 緊急時の迅速な避難行動につなげるため、県内の防災重点ため池マップの周知を図る。
- ため池マップには、ため池名、所在地、貯水量、緊急時の連絡先等を掲載する。

【農業用ため池マップ】



農業用ため池マップの公表について

【経緯】 平成30年7月豪雨では西日本を中心に多くのため池が決壊し、甚大な被害が生じたことを踏まえ、今後のため池対策の進め方に基づく緊急時の迅速な避難行動につなげる対策のひとつとして、ため池の位置等を住民に知っていただくため、宮崎県内の防災重点ため池マップを作成。

【防災重点ため池とは】 決壊した場合の浸水区域に家屋や公共施設等が存在し、人的被害を与えるおそれのあるため池。

(令和元年5月末時点)

農業用ため池の総数	うち、防災重点ため池
663箇所	420箇所

ため池マップには、
ため池名、所在地、
貯水量、緊急時の連絡先を掲載

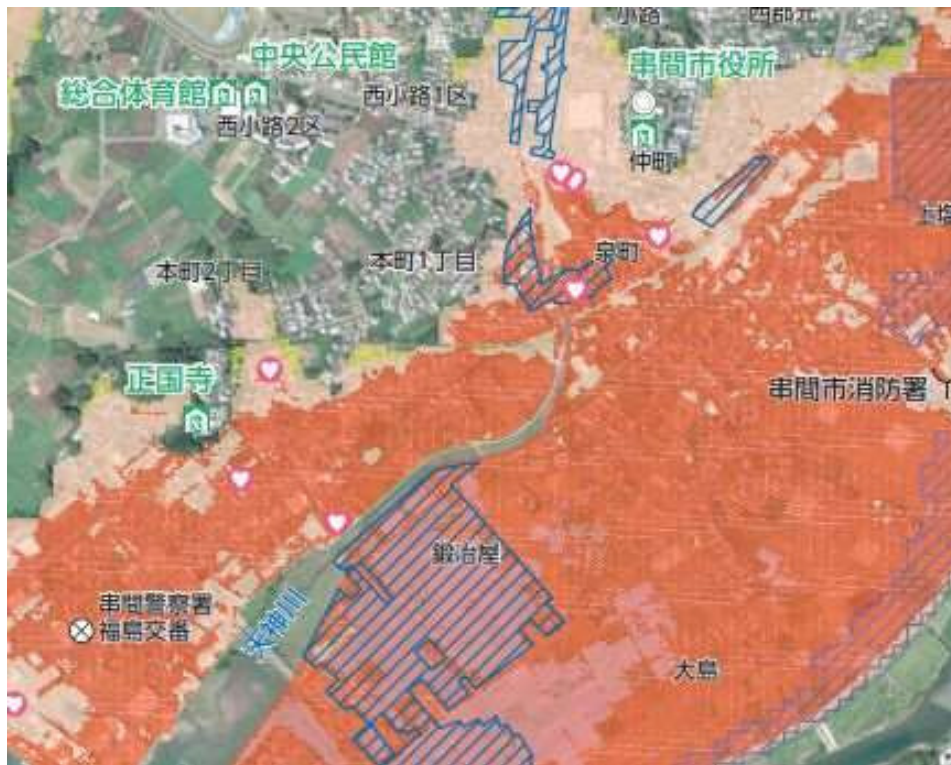
県道

H25県土整備部
砂防課撮影

農業用ため池（黒岩ため池）

区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	水害リスク情報の提供	農業用ため池マップの周知	宮崎県			

○ハザードマップ等を活用した防災訓練や啓発などソフト対策の充実により地域の防災力の向上及び避難体制の強化を図っていく。



ハザードマップを活用した具体的な防災訓練

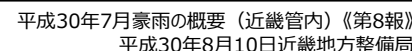


要配慮者を考慮した避難誘導の計画策定支援

区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災情報、避難体制の検討・連携強化	水害や土砂災害の防災教室の実施 有識者による出前講座、防災学習の実施 「自助・共助・公助による防災」への意識改革 ハザードマップを活用した具体的な防災訓練 安全な避難路の選定や維持 要配慮者を考慮した避難誘導の計画策定支援	串間市			

⑦ ICTを活用した洪水警報、大雨警報、土砂災害警戒情報等の提供
【宮崎地方気象台】

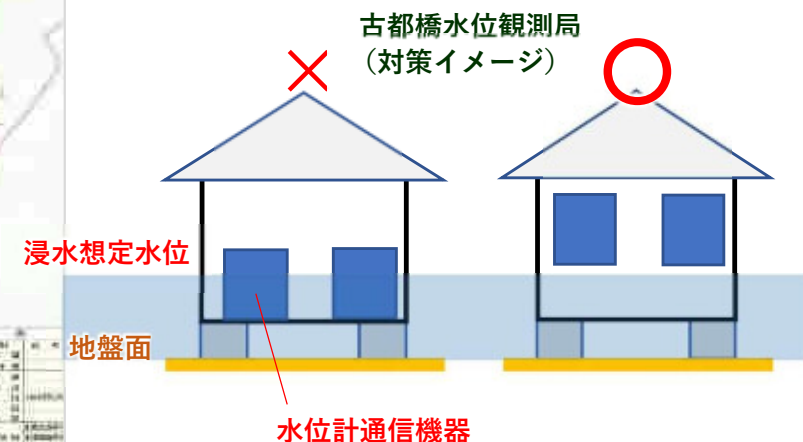
改善（イメージ）



■中期、中長期
出前講座、各種会
議等を利用し、利活
用や避難について周
知啓発を行う。

-40-

- 洪水時の河川水位等の状況を把握するため、危機管理型水位計や簡易型監視カメラを設置し、住民の避難活動を支援している。
- ハザードマップで浸水が想定される水位局については、浸水対策を実施する。

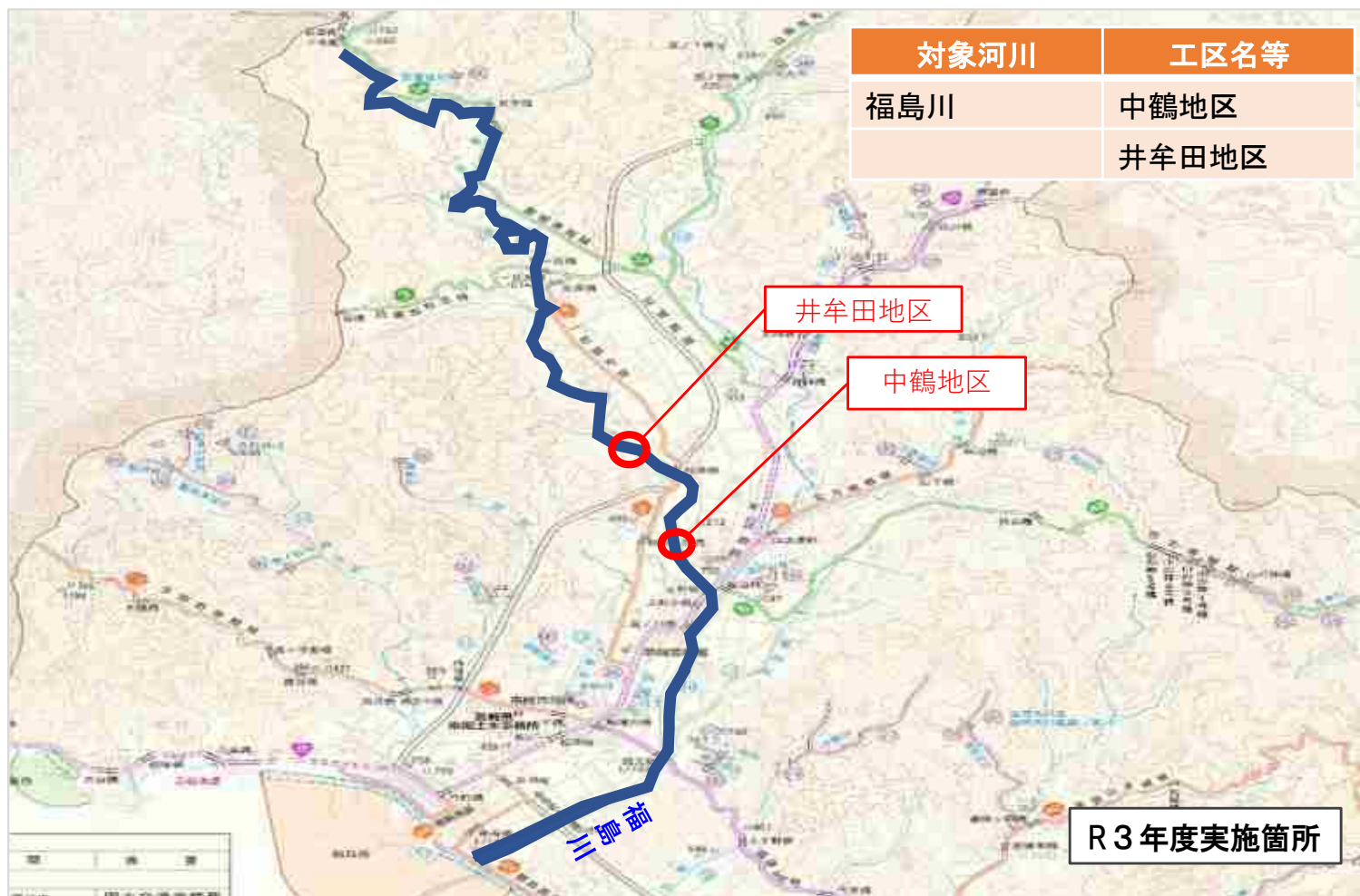


区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災情報、避難体制の検討、連携強化	危機管理型水位計の設置、簡易型監視カメラ設置、水位局浸水対策水位情報の提供	宮崎県	→		
						→

福島川流域における対策内容

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策内容

○福島川では、樹木繁茂や土砂堆積の流下阻害等で洪水氾濫による被害のあった個所や被害の生じる恐れのある箇所について、樹木伐採や掘削を実施する。



区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ 防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策	樹木伐採、河道掘削	宮崎県	→		

○穂佐ヶ原川、倉掛川では、樹木繁茂や土砂堆積の流下阻害等で洪水氾濫による被害が生じる恐れのある箇所について、樹木伐採や掘削を実施する。また、堤防の低い箇所は掘削土砂を利用し嵩上げする。

福島川水系の普通河川【串間市管内】



対象河川	工区名等
穂佐ヶ原川	穂佐ヶ原地区
倉掛川	倉掛地区

穂佐ヶ原川【実施前】



倉掛川【実施前】



区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策	樹木伐採、河道掘削	串間市	→		

氾濫をできるだけ防ぐ
・減らすための対策

③ 天神川の河川改修による氾濫対策

【宮崎県串間土木事務所】

○天神川では、平成12年や平成30年など豪雨による洪水にみまわれ、市街地の平野部を中心に、浸水被害が発生した。このため、JR日南線鉄道橋から天神橋までの1.0km区間において、堤防・護岸整備を実施し、流下能力の向上を図る。

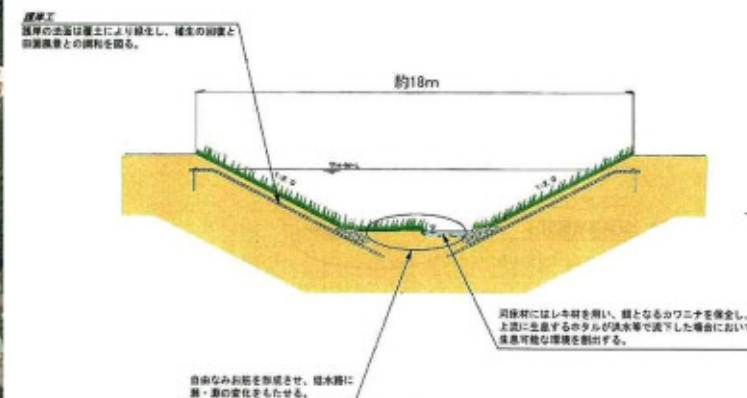


図 4.3 標準断面図 (天神川)

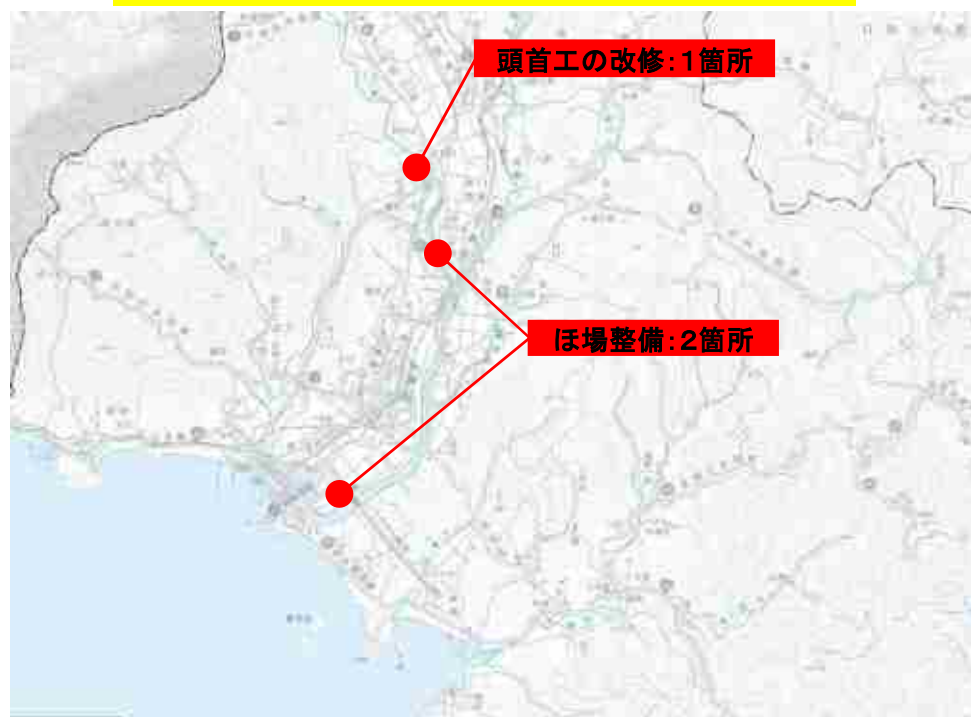


区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ 防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策	河川改修（堤防・護岸整備）	宮崎県	→		

【農業農村整備事業を計画的に実施することで農業の多面的機能を発揮】

- ほ場整備により農地の区画拡大を実施する中で排水桝(ます)や排水路を整備し、**水田がもつ貯留機能を向上**
- 河川内にある頭首工を固定堰から可動堰にすることで河川流量を調節し、**氾濫被害を未然防止**

福島川水系 農業農村整備事業【位置図】



実施内容	受益面積	地区名
ほ場整備	86.0ha	塩屋原、大島堰北部
頭首工の改修	101.0ha	大島



頭首工の改修

区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ 防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策	頭首工の改修	宮崎県			
	流水の貯留機能の拡大	ほ場整備				

氾濫をできるだけ防ぐ
・減らすための対策

⑤ 堤防の強化、樋門ゲートの無動力化 【宮崎県串間土木事務所】

- 地震時の液状化や地盤沈降による堤防決壊防止のため、河川堤防の強化を図る。
- 洪水や津波による浸水が想定される区間の樋門については、緊急時におけるゲート操作の危険性や操作遅れを回避するため、ゲートの無動力化を実施する。



区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ 防ぐ・減らすための対策	津波高潮耐震対策	堤防強化 樋門ゲートの無動力化	宮崎県			

- 河川上流域（民有林）における防災・保水機能を発揮させる森林整備・治山対策のため、再造林、保育(下刈り、間伐等)、治山ダム、山腹工等を進める。



【広渡川・市木川・福島川流域の森林の状況】（日南市、串間市）

森林面積： 65,640ha
 国有林： 28,868ha
 民有林： 36,772ha

【広渡川・市木川・福島川流域の森林整備の実施状況】（令和2年度）

再造林： 352ha 溪間工 2箇所
 下刈り： 1,932ha 山腹工等 2箇所
 除間伐： 69ha

【流域治水への事業効果等】（保水機能効果）

荒廃した人工林を間伐することにより、土壌の孔隙量が増え、保水機能が向上する。

（防災・減災効果）

間伐等の適切な森林整備により、下層植生が繁茂し、降雨に伴う土砂流出を抑制するほか、流木の流出等による被害を防止する。

伐採後の速やかな再造林により、裸地化による水土保持機能の低下を防止する。

治山ダムや山腹工により土砂や流木等の流出を防止するとともに保安林の整備により、森林の水源涵養機能や洪水緩和機能等を発揮させる。

区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	森林の整備・保全、治山施設の整備	森林整備(再造林、下刈り、間伐等) 治山事業(治山ダム、山腹工等)	宮崎県			

⑦ 国有林の森林の整備・保全(保水力の維持向上)【宮崎南部森林管理署】

- 日南串間地区には、民有林3.6万ha、国有林2.9万ha、計6.5万ha(うち人工林2万ha)の森林(流域の土地面積の45%)が存在。
- 森林は山地災害防止機能や水源涵養機能等の公益的機能を有しており、この機能の適切な発揮に向け森林整備の実施が重要。
- 植林・間伐等の適切な森林整備により、森林の保水力の維持・向上等、災害に強い森林づくりを推進。

I 森林の有する機能について

1. 持続可能な森林経営

森林の公益的機能を発揮させるには、人工林については、「伐って、使って、植える」という形で循環利用することが必要。

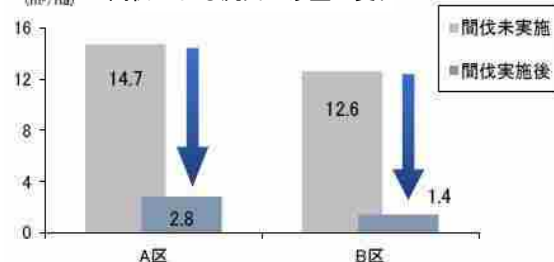


※林野庁森林・林業白書より

2. 森林整備を通じた公益的機能の発揮

間伐等の森林整備により、下層植生や樹木の根の発達により、浸透能力、土壌保持能力が向上。

(m³/ha) 間伐による流出土砂量の変化



※恩田裕一編(2008)人工林荒廃と水・土砂流出の実態
※土砂量:2006年6月～11月の6ヶ月間、総雨量:1,048mm

II これまでの取組実績について

宮崎南部森林管理署管内における森林整備の実績 (単位: ha)

H29	H30	H31	R2	R3	計
1,569	1,504	1,428	1,419	1,455	7,375

※ 森林整備にて行う作業
更新作業: 地拵、植付
保育作業: 下刈、除伐、保育間伐



III 今後の取組について

○ 令和4年度 宮崎南部森林管理署管内の森林整備事業予定

更新作業	地拵	147.25ha
	植付	164.76ha
保育作業	下刈	729.22ha
	除伐	166.88ha
	除伐Ⅱ類	0ha
	保育間伐	374.50ha
計		1582.61ha

○ 森林整備の推進

間伐等の森林整備により、公益的機能が発揮される健全な森林づくりを推進。



間伐前

間伐後

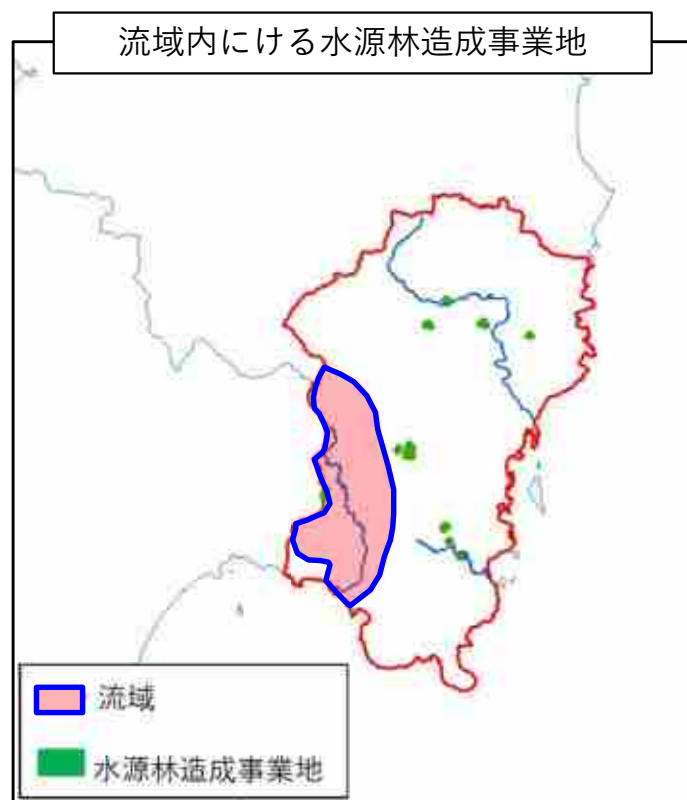
区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	森林の整備・保全、治山施設の整備	森林整備事業	宮崎南部森林管理署			

氾濫をできるだけ防ぐ
・減らすための対策

⑧ 水源林造成事業による森林整備・保全対策

【森林研究・整備機構 森林整備センター】

- 水源林造成事業は、奥地水源地域の民有保安林のうち、所有者の自助努力等によっては適正な整備が見込めない箇所において、針広混交林等の森林を整備することにより、森林の有する公益的機能の高度発揮を図る事業である。
- 水源林造成事業地において除間伐等の森林整備を計画的に実施することで、樹木の成長や下層植生の繁茂を促し、森林土壌等の保水力の強化や土砂流出量の抑制を図り、流域治水を強化促進する。
- 広渡川、市木川、福島川流域における水源林造成事業地は、11箇所（森林面積 約130ha）であり、流域治水に資する除間伐等の森林整備を計画的に実施していく。



区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ 防ぐ・減らすための対策	森林の整備・保全、 治山施設の整備	水源林造成事業	森林研究・整備機構 森林整備センター			

⑨ 土砂や流木の流出対策(国有林直轄治山事業) 【宮崎南部森林管理署】

- 山地に起因する災害から国民の生命・財産を保全し、また、水源かん養、生活環境の保全・形成等を図り安全で安心できる豊かな暮らしの実現を図るための治山事業を実施。
- 砂防・治山対策がそれぞれの役割を果たしながら砂防と連携することにより、土砂・流木災害の防止・軽減を図る。

○ 治山事業の実施状況について



災害発生直後

・雨の影響により地すべりが発生し、土砂と立木が道路へ流出。



工事完成后

・流出した土砂及び流木を撤去し山腹工を施工。

○ 宮崎南部森林管理署管内の治山事業実績 令和2年度

谷止工	3基(925.3m³)
山腹工	3カ所(1.24ha)
土留工	2カ所(0.11ha)

令和3年度

谷止工	5基(1676.9m³)
山腹工	1カ所(0.16ha)

○ 令和4年度 治山事業予定

谷止工	3基(853.4m³)
-----	-------------

・令和5年度以降の治山事業予定は、第6次地域管理経営計画書・国有林野施業実施計画書に基づき溪間工及び山腹工の事業を予定している。

区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	森林の整備・保全、治山施設の整備	治山事業	宮崎南部森林管理署			

福島川流域における対策内容

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策内容

○防災の日や防災週間において、防災啓発を実施、継続していく。

- ▶ 防災の日（5月第4日曜日）：普及・啓発事業
- ▶ 防災週間（8月30日～9月5日）：普及・啓発事業

令和3年度宮崎県防災の日(令和3年度は5/23)における啓発事業

- ・ 自助・共助への意識向上のため、テレビ、ラジオCM、ポスター、チラシ等により風水害への備えの啓発について実施した。
- ・ 改正災害対策基本法による新しい避難情報についても啓発した。



(防災の日チラシ表)



(防災の日チラシ裏)

令和2年度防災週間における啓発事業

- ・ 台風シーズン前に多様な避難のあり方と避難における注意点等を啓発した。
- ・ R2年度は新型コロナウイルス感染症への対応もあり、より避難の理解力向上が求められたことから、防災週間だけではなく、前倒しし、8月12日からCM等を放映した。



区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災学習の推進	防災の日、防災週間における防災啓発	宮崎県			

- 防災士養成研修：災害時において最も重要な「自助・共助」を推進するため、地域防災の核となる防災士を養成している。
- 防災士出前講座：自主防災組織や自治会、学校や企業に防災士を講師として派遣する出前講座を実施し、地域の防災力を向上させている。

宮崎県防災士養成研修

- ・令和3年5月末現在の防災士数
〈宮崎県〉 **5,646名**（人口10万人当たり526名）
〈全国〉 211,330名（人口10万人当たり167名）
- ・防災士数の順位
全国・・・**14位** 九州・・・**3位**（福岡、大分に次ぐ）
※人口10万人比では、**全国6位**



宮崎県防災士出前講座

- ・養成してきた防災士を活用し、自治会や自主防災組織等で実施する研修等に防災士を講師として派遣する。



（出前講座ポスター）



出前講座の主な内容

- 地震・津波についての基礎講座
- 気象・火山についての基礎講座
- 家具固定に関する講座・実習
- 地域の地図を用いたワークショップ
- 避難所運営ゲーム等を用いた防災学習

区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災学習の推進	防災士の養成及び出前講座の実施	宮崎県			

③ 学校、自治会、自主防災組織等への水防災教育の推進

【宮崎地方気象台】

○自ら判断して避難できる人材育成を目的として、学校、自治会、自主防災組織等への水防災教育の推進するため、台風・豪雨から「自らの命は自らが守る」基本的な知識ととるべき行動について、他人と接触せずに学べる教材を提供。

気象庁 eラーニング教材「大雨のときにどう逃げる」

改修版

- 新しい生活様式での**オンライン学習**に対応(教材は気象庁HPで公開)
- **マイ・タイムライン**の事前学習に最適
- 個人学習だけでなく、自治会や学校などでも活用できる教材
- 難しく考えず、**気楽**に取り組むことが可能

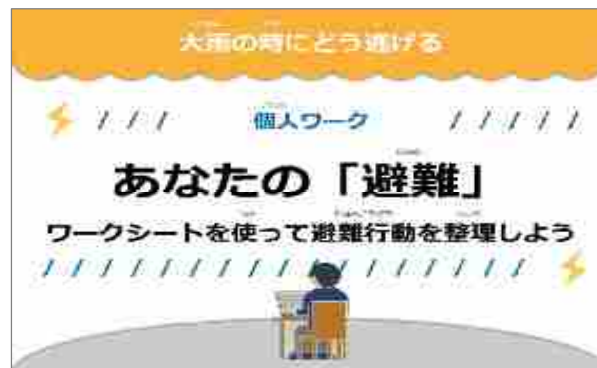
アドレス

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/knownow/jma-el/dounigeru.html>



「自らの命は自らが守る」
基本の知識を動画で学ぶ

約17
分



自分の避難行動を
ワークシートに整理

約30
分



みんなで意見交換して
自分の避難を再確認

約30～40
分

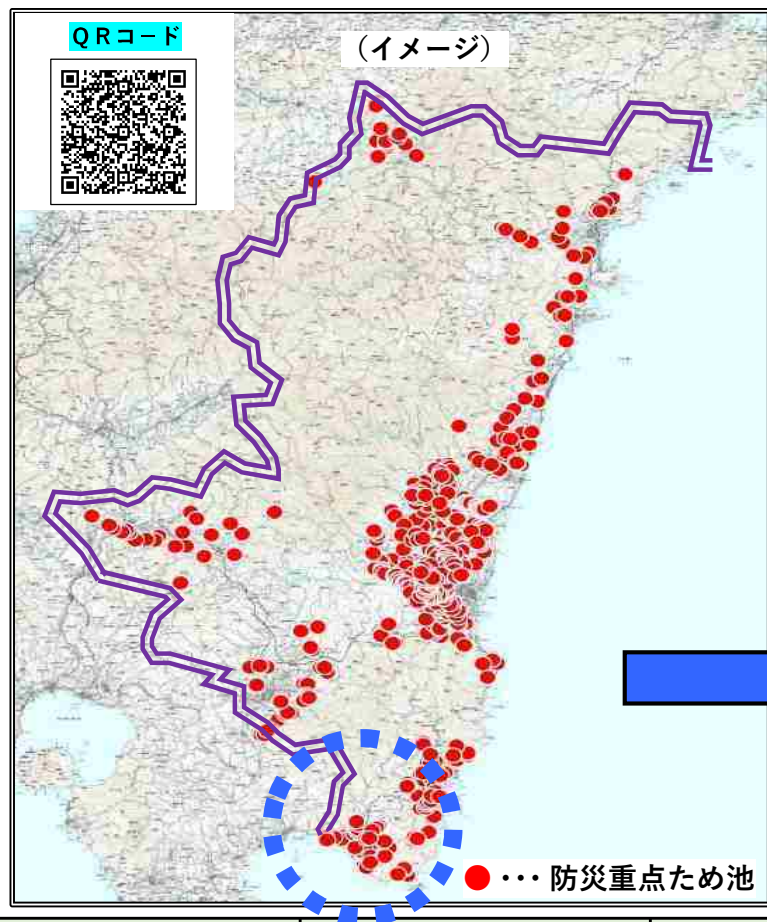
1時間の学習にピッタリ

Web会議でも実施できます

区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災学習の推進	出前講座・防災学習の実施	気象庁	→		

- 緊急時の迅速な避難行動につなげるため、県内の防災重点ため池マップの周知を図る。
- ため池マップには、ため池名、所在地、貯水量、緊急時の連絡先等を掲載する。

【農業用ため池マップ】



農業用ため池マップの公表について

【経緯】 平成30年7月豪雨では西日本を中心に多くのため池が決壊し、甚大な被害が生じたことを踏まえ、今後のため池対策の進め方に基づく緊急時の迅速な避難行動につなげる対策のひとつとして、ため池の位置等を住民に知っていただくため、宮崎県内の防災重点ため池マップを作成。

【防災重点ため池とは】 決壊した場合の浸水区域に家屋や公共施設等が存在し、人的被害を与えるおそれのあるため池。

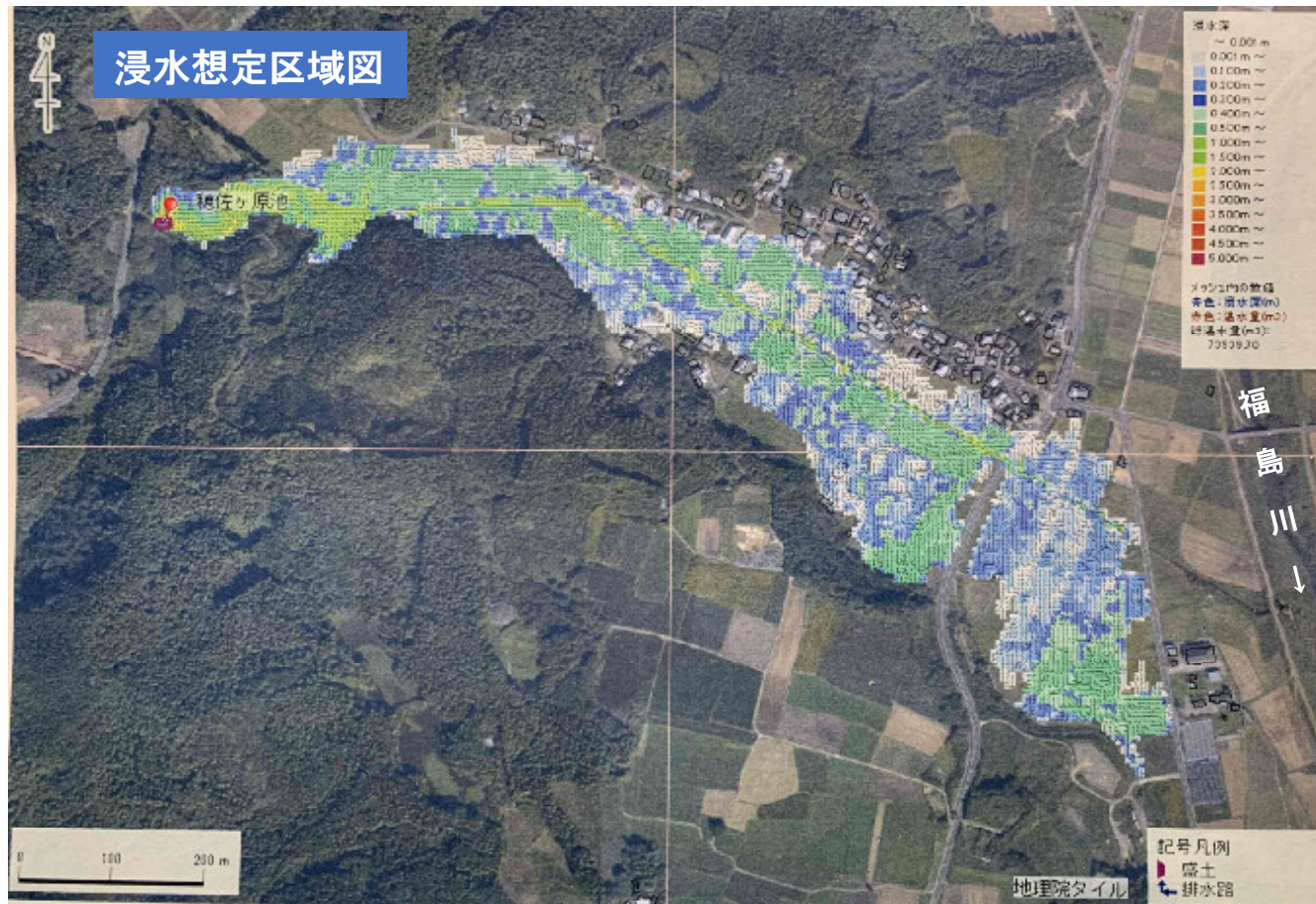
(令和元年5月末時点)

農業用ため池の総数	うち、防災重点ため池
663箇所	420箇所



区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	水害リスク情報の提供	農業用ため池マップの周知	宮崎県			

○地震や大雨によってため池が決壊する恐れのある場合の備えとして周知し、災害時の円滑な避難を図る。



区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	土地のリスク情報の充実・提供	ため池ハザードマップの周知	串間市			

- 作成した洪水浸水想定区域図データの提供。
- 洪水予報河川・水位周知河川以外の中小河川についても、浸水想定図を作成し、水害リスク情報空白地帯を解消していく。
- 不動産関係団体等が開催する研修会において、水害リスク情報の解説を実施していく。

不動産関係団体を対象とした研修会での水害リスク情報の解説

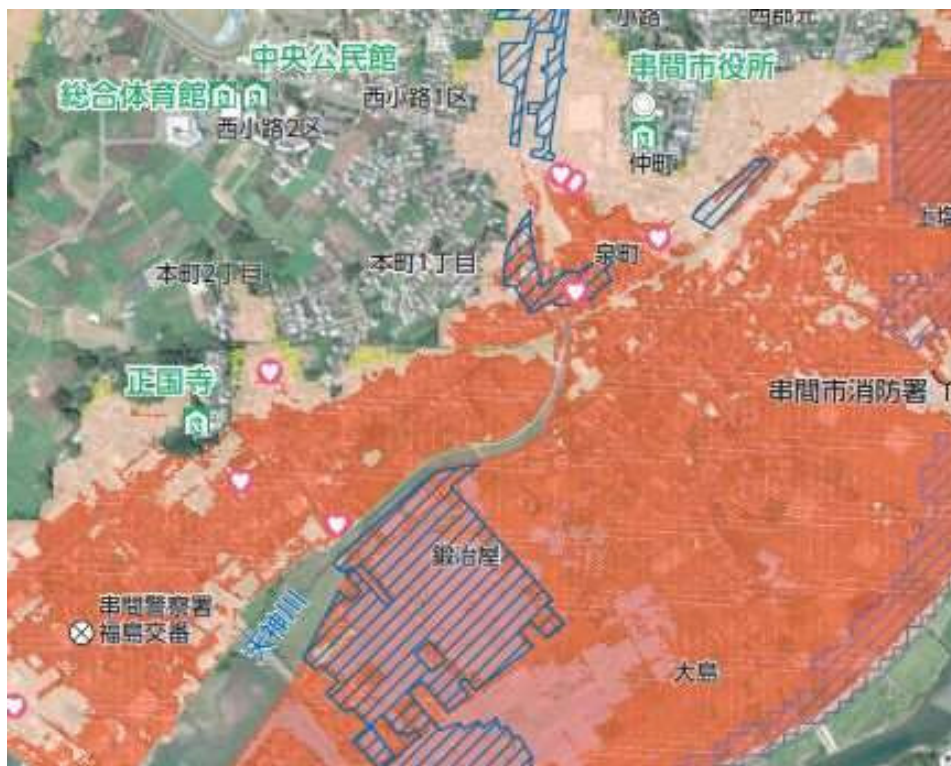


洪水浸水想定区域図のない水害リスク情報空白地帯の解消



区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	土地のリスク情報の充実・提供	洪水浸水想定図の作成・データ提供等	宮崎県			

○ハザードマップ等を活用した防災訓練や啓発などソフト対策の充実により地域の防災力の向上及び避難体制の強化を図っていく。



ハザードマップを活用した具体的な防災訓練



要配慮者を考慮した避難誘導の計画策定支援

区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災情報、避難体制の検討・連携強化	水害や土砂災害の防災教室の実施 有識者による出前講座、防災学習の実施 「自助・共助・公助による防災」への意識改革 ハザードマップを活用した具体的な防災訓練 安全な避難路の選定や維持 要配慮者を考慮した避難誘導の計画策定支援	串間市			

被害の軽減、早期復旧
・復興のための対策

⑦ ICTを活用した洪水警報、大雨警報、土砂災害警戒情報等の提供 【宮崎地方気象台】

○「危険度分布」において「**本川の増水に起因する内水氾濫（湛水型の内水氾濫）の危険度**」も確認できるよう、**本川流路の周辺にハッチをかけて危険度を表示**するように改善。

改善（イメージ）



指定河川洪水予報
（国や普通府県が管理する河川のうち、流域面積が大きく、洪水により大きな被害を生ずる河川について、洪水のおそれがあると認められるときに発表。）

- 指定河川洪水予報
- 水位情報（川の防災情報）

指定河川洪水予報

- 氾濫発生情報【警戒レベル5相当】
- 氾濫危険情報【警戒レベル4相当】
- 氾濫警戒情報【警戒レベル3相当】
- 氾濫注意情報【警戒レベル2相当】
- 発表なし

洪水警報の危険度分布

- 極めて危険
- 非常に危険【警戒レベル4相当】
- 警戒【警戒レベル3相当】
- 注意【警戒レベル2相当】
- 今後の情報等に留意

本川の増水に起因する内水氾濫（湛水型の内水氾濫）の危険度
（危険度増水によって周辺の支川・下水道からの排水ができなくなることで発生する内水氾濫による洪水被害のおそれがあると認められるときに発表。）

- 警戒【警戒レベル3相当】
- 注意【警戒レベル2相当】



平成30年7月豪雨の概要（近畿管内）《第8報》
平成30年8月10日近畿地方整備局

■短期
「危険度分布」に本川の増水に起因する内水氾濫の危険度も表示することで、住民の自主的な避難の判断や、市町村のより適切な避難情報の発令につながる。

■中期、中長期
出前講座、各種会議等を利用し、利活用や避難について周知啓発を行う。

区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災情報、避難体制の検討・連携強化	ICTを活用した防災情報の提供	宮崎地方気象台			



区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
被害の軽減、早期 復旧・復興のための対策	防災情報、避難体制の 検討、連携強化	危機管理型水位計の設置、 簡易型監視カメラ設置 水位情報の提供	宮崎県			
				